

人権を考える

人権相談 午後1～3時、直接会場へ▷市役所本庁舎＝
第2・4金曜日▷地域づくりセンター鬼石＝第3木曜日



～男性にとって男女共同参画とは～

男女共同参画社会とは、全ての人が性別に関わりなく、職場・学校・地域・家庭で互いの個性を認め支え合い、自分らしく個性や能力を生かすことができる社会です。男女共に暮らしやすい社会を実現することで、さまざまな場に対等な立場で参画したり、相互理解や共に責任と喜びを分かち合うことなどができます。

ジェンダーギャップ指数

ジェンダーとは、生物学的な性別ではなく、社会的・文化的な役割の違いにより形成された性別のことで、男女の違いによって生じた格差をジェンダーギャップといいます。社会通念や慣習などによって作られた男性像・女性像により、こうあるべき・こうするべきと無意識に考える先入観やイメージがジェンダーの不平等や差別につながります。

世界経済フォーラム(WEF)では毎年、各国における男女格差を測るGGI(ジェンダー・ギャップ指数)を発表しています。経済・政治・

教育・健康の4つの分野について、経済活動や政治への参画度、識語率や教育水準、出生時の男女比率や健康寿命などから算出され、2023年6月に発表された日本の順位は、世界146カ国中125位と前回と比べてスコアはほぼ横ばいでした。各分野では、経済123位・政治138位・教育47位・健康59位でした。日本は政治や経済分野での女性の参画が特に遅れているといわれています。

女性だけの問題ではない

男女共同参画は女性だけの問題ではなく、男性の問題でもあり、日本社会の未来を巡る問題でもあります。高度経済成長期には、若者の人口比

率が高く、働き手となる男性と無償で家事や育児を担う女性が多数いたことで社会が成り立っていましたが、少子高齢化が進み、男性だけでは労働力が足りず、女性の就業がますます期待されるようになりました。そのため、女性だけに家庭や地域を支える責任を負わせるわけにはいきません。また、ジェンダー平等の推進は男性にとって、稼ぎ手責任を一手に担う重圧から解放され、仕事と生活を調和させるための鍵になります。性別に関わらず誰もが仕事と家庭を両立させ、かつ生産性と効率を上げることは社会の維持に不可欠です。ジェンダー平等は、誰にとっても喫緊の課題だという認識を持つことが重要です。

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
...		
15	イギリス	0.792
...		
43	アメリカ	0.748
...		
105	韓国	0.68
...		
107	中国	0.678
...		
125	日本	0.647

・値が1に近づくほど男女平等
・値が0に近づくほど男女格差が大きい



健康寿命延伸は歯と口の健康から

健康づくり課(☎402808)

歯周病

歯周病とは、歯と歯肉のすき間(歯周ポケット)から進入した細菌によって歯肉に炎症を起こす状態をいいます。
○症状▽歯を磨くと血が出る▽歯肉が赤く腫れている▽口臭が気になる▽歯が長くなったように見える

これらのような症状があれば歯周病の危険信号です。放置すると歯を支える組織を破壊し続け、歯が抜け落ちます。また、歯周病は歯と口だけの問題ではなく、歯周病の原因となる細菌が粘膜や血液を通して全身に回ること、糖尿病・心筋梗塞・脳梗塞・肺炎・認知症など、全身的な健康に影響することが分かっています。歯と口の健康を保つことは、全身の病気のリスクを軽減し、健康寿命を延ばす助けにもな

ります。そのため、予防・早期発見・早期治療が大切です。

若い世代の歯周病の増加

一人暮らしなどによる生活習慣の変化や仕事・子育ての忙しさなどから口腔環境に悪い習慣が根付き、口腔内の歯周病菌を増やしてしまうと、若くても歯周病になるリスク

が高くなります。特に30代後半で歯周病にかかる人が急増しており、国は今年度から中高年に加え、20・30歳に対しての歯周病検診を推奨しています。

市の歯周病検診

市内の歯科医院(指定医療機関)で20・30・40・50・60・70歳の節目年齢の人を対象に、歯周病検診を実施しています。

検診では、歯科医師が歯や歯肉の状況などをチェックし、専用の器具を使用して歯周ポケットの深さを測定することで、歯肉の出血の有無や歯の動きを確認します。検診を受けることにより、歯周病や虫歯を早期発見でき、歯周病や虫歯のリスクを大きく減少させ、自分の歯を長持ちさせることができます。

しかし、市民の歯周病検診の受診率は3%以下で、若い人の受診が少ないというのが現状です。受診した人の4割が精密検査該当者となっており、精密検査を受けた人のほとんどが歯周病と診断され、治療につながっています。少なくとも年1回以上は歯科検診を受け、口の健康を維持しましょう。また、頼れるかかりつけ歯科医を持つことも大切です。

市歯周病検診を受けましょう～日本人の約80%が歯周病です～

▷令和6年度の市歯周病検診は、12月20日(金)まで実施しています
▷対象者には5月に受診票を郵送しましたので、歯と口の健康チェックを受けましょう

7月の休日当番医

診療時間は原則午前9時～午後6時 歯科医院は午前9時～正午
※急な変更が発生する場合があります。必ず連絡の上、受診してください

日	医療機関	産婦人科	歯科
7日(日)	しろやしき内科 芦田町・☎508320	中島整形外科クリニック 芦田町・☎241777	藤岡総合病院 中栗須・☎203311
14日(日)	篠塚病院 篠塚・☎209261	栗原胃腸科外科医院 神田・☎402299	中島歯科医院 6丁目・☎201135
15日(祝)	光病院 本郷・☎201234	島田クリニック 中大塚・☎200005	森歯科診療所 森・☎202828
21日(日)	鬼石病院 鬼石・☎203121	原内科クリニック 下戸塚・☎402255	光病院 本郷・☎201234
28日(日)	くすの木病院 旭町・☎203111	深沢内科医院 上戸塚・☎206555	石川歯科医院 本郷・☎201100
			里村歯科クリニック 高崎市吉井町・☎027・387・8114
			魚津歯科医院 上大塚・☎200676

◎救急テレホンサービス(☎206699) 緊急に対応できる医療機関を24時間案内します